

JA神奈川県信連におけるSDGsへの対応



SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)とは、2015年9月開催の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた社会・経済・環境等の様々な問題の解決に向けた国際社会共通の目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されます。



当会の対応方針

当会では、これまで「農業者・地域に対する金融支援」や「食農教育事業」などを通じたなかで、SDGsを実践してきました。

これを受けて、令和4年度を初年度とする次期中期経営計画(令和4～6年度)に「SDGs取組宣言書」を新たに設定したうえで、SDGsを踏まえた農業・地域へのさらなる貢献により、持続可能な社会の実現を目指します。

これまでのSDGsに関連する取り組み

1

重要課題(マテリアリティ): 農業振興

◇農業者・農業関連団体への金融支援

農業経営や農産物の加工・流通等の事業を行ううえで必要な資金や、災害被害に対する資金支援を行っています。

【実績】

- 農業関係貸出金残高 15,802百万円(令和3年9月末時点)※
- 災害救済資金実行件数・金額(台風や暖冬、新型コロナウイルス等)70件/156,470千円(令和2年度)※
- JAバンク神奈川利子補給事業 1,095件/18,536千円(令和2年度)
- JAバンク神奈川保証料助成事業 681件/31,842千円(令和2年度)

※JAバンク神奈川合計件数、金額



◇農業者の所得向上に向けた取り組み

県内農業の課題を踏まえた各種費用助成を行い、農業者の所得向上を支援しています。

【実績】(令和2年度)

- 有害鳥獣対策費用助成 939件/27,638千円
- スマート農業応援助成 113件/39,021千円
- 営農サポートセンターでの各種取組の実施



JA神奈川県信連におけるSDGsへの対応



◇地域農業を支えるJAに対する支援

県内JAに対する研修開催等を通じた相談対応力の発揮できる人材の育成支援や、持続可能な経営基盤の確立支援を行っています。

【実績】

- JA職員向け研修の開催
- JA職員出向等の積極的な受入
- 安定的な収益還元
- 店舗再編等を通じたJAの経営改善支援



2

重要課題(マテリアリティ):地域社会への貢献

◇地域利用者への金融サービスの提供

地域金融機関として地域のニーズに応えるため、公共資金や県内企業への資金対応等を行っています。

また、非対面チャネル導入等を通じて、利用者の利便性向上に向けた対応を行っています。

【実績】(令和3年9月末時点)

- 地方公共団体、公社等への貸出実行
- 個人向けインターネットバンキング 契約件数 86,230件※
- 法人向けインターネットバンキング 契約件数 508件※
- JAバンクアプリ登録件数 37,312件※

※JAバンク神奈川合計件数



◇ライフプランサポート機能の発揮

住宅ローンを中心とした生活ローンの展開、および相続税試算やコンサルティング等、利用者のライフイベントに応じた対応を実施しています。

【実績】

- 住宅ローンの実行 1,448件/50,555百万円※(令和3年度上期)
- 相続税試算、コンサルティング実施
- 金融リテラシー向上等を目的とした顧客向けセミナー開催
- JA向け研修を通じた顧客本位の業務運営の定着化

※JAバンク神奈川合計件数、金額



◇「食」「農」を通じた地域活性化

農業者と県内企業のビジネスマッチング支援や地域児童に対する食農教育等を通じ、地域活性化に貢献しています。

【実績】(令和2年度)

- 地域児童に対するJA教材本贈呈 約900校 約8万人
- 「食」「農」に関連する企業のビジネスマッチング支援
- 地域企業とJAのコラボ企画開催(いちご狩り体験)
- 県内農業高校および農業アカデミーへの研究費等助成 11件/898千円
- 新規就農者支援 153件/30,197千円



JA神奈川県信連におけるSDGsへの対応



3

重要課題(マテリアリティ):自然環境の保全

◇事業推進に関連した環境負荷の低減

JA住宅ローン利用者を対象に、環境配慮型住宅・設備(太陽光発電や神奈川県産木材の使用等)の導入助成金を交付し、自然環境の保全に貢献しています。

【実績】(令和2年度)

●環境配慮型住宅助成金の支出 445件/31,520千円



◇当会業務運営に伴う環境負荷の低減

環境に配慮した業務車両等の設備導入や、ペーパーレス化に取り組むことにより、当会業務運営に伴う環境負荷の低減を図っています。

【実績】

- デジタル機器を活用した諸会議のペーパーレス化
- 自然エネルギーを利用した執務ビルの利用
- 環境配慮型自動車の導入
- 執務ビル内でのLED電球使用



4

重要課題(マテリアリティ):ゆとりや働きがいのある職場づくり

◇コンプライアンスの充実

定期的に勉強会を開催し、ハラスメントや差別の禁止、人権尊重について周知しています。

【実績】

- ヘルプライン制度の運用
- 役職員研修会(ハラスメント防止をテーマに実施)
- 勉強会開催(年4回)



◇多様な働き方の実施

様々なライフサイクルにある職員に対応した制度を検討・導入し、職員のワークライフバランス充実を目指しています。

【実績】

- 育児者向け「所定外労働免除」延長
- テレワーク制度拡充
(シンクライアントPC、サテライトオフィス導入)



◇職員のスキル向上支援

専門知識の習得に向けた研修派遣や資格取得の支援を実施し、スキル高度化を図っています。

【実績】(令和2年度)

- ビジネススクール派遣 3名
- 資格取得奨励制度適用者 延べ40名 対象資格 37資格



◇職員の健康管理

健康相談やストレスチェックを実施し、職員が健康的に就業できるよう支援しています。

【実績】

- 産業医による健康相談実施
- ストレスチェック実施
- 感染症対策として、時差出勤の実施やアクリル板および消毒機器等の購入
- ノー残業デーの実施

